

平成19年4月27日

各 位

会 社 名 ジャニス工業株式会社
代 表 者 名 取締役社長 井上 光弘
(コード番号 5342 名証第2部)
問 合 せ 先 総務部長 守田 正裕
(TEL 0569-35-3150)

特別損失の計上および業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成19年3月期において下記の通り特別損失を計上する見込みとなりましたので、その概要をお知らせするとともに、最近の業績の動向等を踏まえ、平成18年11月24日の中間決算発表時に公表しました平成19年3月期(平成18年4月1日～平成19年3月31日)の業績予想を下記の通り修正しますので、お知らせいたします。

記

1. 特別損失の主な内容

当社は、平成19年3月期決算において、394百万円の特別損失を計上する見込みとなりました。

(うち、52百万円は中間期決算において計上済であります。)

新たに計上する見込みとなった特別損失の主な内容は以下のとおりであります。

(1) 固定資産の減損損失

平成19年2月26日付で「大曾工場閉鎖に関するお知らせ」を公表いたしましたが、同工場について「固定資産の減損に係る会計基準」に従って減損の要否を判断した結果、186百万円の減損損失を計上する見込みとなりました。

(2) 棚卸資産評価損

財務内容の健全化を図るため、保有する棚卸資産について商品価値の見直しを行い、また、一部不良品に対しては廃棄時に発生する損失見込額等も織り込んで、115百万円の棚卸資産評価損を追加計上する見込みとなりました。

2. 平成19年3月期通期業績予想の修正(平成18年4月1日～平成19年3月31日)

(単位:百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A) (平成18年11月24日発表)	5,350	△190	△260
今回修正予想(B)	5,151	△289	△569
増減額(B-A)	△199	△99	△309
増減率(%)	△3.7	—	—
前期(平成18年3月期)実績	5,482	△126	△113

3. 修正の理由

当社は、昨年10月より販売価格の改定を行ってまいりましたが、販売先への浸透が予想より遅れたこと、および原材料価格の高騰により製造原価が増加したこと等の影響により、売上高、経常利益が前回発表予想を下回る見込みとなりました。

当期純利益につきましては、上記理由に加え、特別損失を計上すること等から、前回発表予想を下回る見込みとなりました。

4. その他

平成20年3月期の業績予想につきましては、平成19年5月に予定しております決算発表時にお知らせいたしますが、今回の業績予想の下方修正の経営責任を重く受け止め、その責任を明確にするため、当面の間、全取締役を対象に役員報酬のカットを実施いたします。

以上